

## 22. カウンターパートアンケート結果

### 担当分野

#### 長期専門家について

満足	22
投入不足、追加投入が必要	20
語学力不足	12
知識移転が行われた	10
もっと専門性を高める必要がある	5
専門家の技術移転の時間の延長を	3
専門家を変えないで	1
専門家はもっと協力すべき	1

#### 短期専門家について

投入不足、追加投入が必要	16
派遣期間が短い	16
他分野の短専を	14
技術移転に貢献	9
満足	6
語学力不足	5
タイミングに不満	1
投入された資材が少ない	1
もっと効率的に	0
無回答	5

#### 供与機材について

満足	44
投入不足、追加を望む	32
取扱、活用方法の指導を	3
未使用	2
維持管理が問題	2
指導員用機材が不足	2
運搬方法に問題	1
使用方法が限定されている	1
改善すべき	1

#### 移転技術の活用状況

毎日の業務に活用	46
学んでいる	8
改善するよう努力している	5
満足	1
意味不明・設問に無関係な解答	6

#### NVRCの障害者雇用促進への貢献

技能労働者を育て、労働市場での競争力をつける	24
障害者の能力の向上に寄与	13
企業・他機関、一般を啓蒙	10
インパクト有り	3
開業の機会を与える	2
他の障害者へのエンパワーメント	1
意味不明	3
その他	10

プロジェクト終了時にあなたの技術どう向上しているか、  
職リハシステムはどうか

プロジェクト終了後移転された技術を  
どう活用していくか

移転技術を活用し向上に努める	43
他の機関と連携し、技術の向上を図り、職リハを広げる	14
アイデアを広げていく	2
インドネシアにあった手法を開発したい	2
身障者以外の分野にも技術を活用していきたい	1
上級コースの開設も考える	1
自立した発展を目指す	1
その他	8
意味不明	1

#### 本プロジェクトの良い点、改善点、その他の提案

障害者の役に立っている	15
調査研究部は改善される必要がある（長期専門家が必要）	12
職業訓練内容の改善（イ国の情勢を勘案すべき）	11
指導員の指導能力の向上	8
職業評価分野（職業斡旋）の改善が必要	5
職員の質の改善、知識の向上が必要	3
各訓練コースの比較研究が必要	3
職員研修の向上	3
新たな機材が必要	3
今後もJICAの協力が必要	2
労働市場の理解が必要	2
国内外での幅広い協力が必要	1
カウンセリング等専門分野を強化すべき	1
社会への認知を高める	1
必修外の教科の開発	1
図書職員の改善が必要	1
その他	9
意味不明	1

23. 訓練生アンケート結果

訓練生へのアンケート（全体、回答数 99）

1 性別

区分	人数
1) 男	76
2) 女	23
合計	99

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	14
2) 21～25	63
3) 26以上	22
合計	99

3 障害の部位

区分	人数
1) 上肢	4
2) 下肢	2
3) 腕	4
4) 脚	87
5) 指	4
6) その他	4
合計	95

6) その他の内訳は以下の通り  
手(1)、手首(1)、右手首(1)、屈伸(1)

4 コース名

区分

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満	不満
1) リクルート	44	51	2	0
2) アセスメント	38	60	0	0
3) 職業訓練	53	46	0	0
4) その他	16	45	1	0
合計	151	202	3	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳															
1) 無	55	コンピューター	音楽	縫製	刺繍・手工芸	電子	美容師	知識向上	能力向上	英語	スポーツ	日本語	絵画	料理	自動車運転	実習時間増	各種体
2) 有	44	10	6	4	4	4	4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1
合計	99	2) 内訳合計 47															

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) : 有 の内訳						区分 f) : その他の内訳		
1) 無	79	a) 宿舎	b) 教室	c) 食堂	d) トイレ	e) 通路・階段	f) その他	テレビ視聴室	お折り部屋の空調	寮の時計
2) 有	20	6	5	6	4	0	3	1	1	1
合計	99	2) 内訳合計 24						f) 内訳合計 3		

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳																		
1) 無	50	縫製マスキングスリッパの提供	課外活動増	実習時間増	実習機器向上	電子教材の充実	印刷コンピューターの台数増	英語	スポーツ時間増	保険・医薬品	スポーツ用具の向上	宗教プログラムの充実	適正検査の説明	一般応募者のアセスメント	訓練内容の向上	訓練期間増	スタッフの研修	訓練後のフォロー	休日の図書館開放	伝統楽器増
2) 有	49	12	8	7	7	7	5	4	4	4	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
合計	99	2) 内訳合計 73																		

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳											
1) 無	77	将来の不安	縫製実習場のほり折り針	公共電話の故障	経済状態	買い物	課外活動用具の不足	レクレーション	練習時間不足	実習資材をもっと豊富に	人間関係	日常生活	夜騒がしくて勉強できない
2) 有	22	4	4	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1
合計	99	2) 内訳合計 25											

訓練生へのアンケート（コンピューター、回答数 18）

1 性別

区分	人数
1) 男	12
2) 女	6
合計	18

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	1
2) 21~25	16
3) 26以上	1
合計	18

3 障害の部位

区分	人数
1) 上肢	0
2) 下肢	2
3) 腕	1
4) 脚	16
5) 指	1
6) その他	1
合計	18

6) その他の内訳は以下の通り  
手(1)

4 コース名

区分
コンピューター

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満	不満
1) リクルート	10	7	1	0
2) アセスメント	4	14	0	0
3) 職業訓練	5	13	0	0
4) その他	2	8	0	0
合計	21	42	1	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) /有 の内訳															
1) 無	11	コン ピュー ター	音楽	縫製	刺繍・ 手工芸	電子	美容師	知識 向上	能力向 上	英語	スポー ツ	日本 語	絵画	料理	自動車 運転	実習 時間 増	各種 体
2) 有	7	/	/	/	/	3	/	2	1	1	/	/	/	/	/	/	/
合計	18																2) 内訳合計 7

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) :有 の内訳						区分 f) :その他の 内訳
1) 無	13	a) 宿 舎	b) 教 室	c) 食 堂	d) トイ レ	e) 通 路・ 階段	f) そ 他	無し
2) 有	5	1	1	3	1	0	0	/
合計	18	2) 内訳合計 6						0

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) /有 の内訳																			
1) 無	6	縫製マ スク・ スリッ パの提 供	課外 活動 増	実習 時間 増	実習機 器向上	電子教 材の充 実	印刷コ ンピ ュー ターの 台数 増	英語	スポー ツ時 間 増	保険 ・医 薬品	スポ ーツ 用具 の向 上	宗教 プロ グラ ムの 充実	適正 検査 の 説明	一般 応募 者の アセ スマ	訓練 内容 の向 上	訓練 期間 増	スタ ッフ イ	停電 対策	訓練 後の フオ 	休日 の 書 館 開 放	伝 統 楽 器 増
2) 有	12	/	2	3	2	/	3	2	4	/	/	2	/	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	18																				2) 内訳合計 21

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) /有 の内訳											
1) 無	14	将来 の 不安	縫製 実習 場の ほり と 折 針	公衆 電話 の 故 障	経済 状態	買い 物	課外 活 動 用 具 の 不 足	レク レ ー シ ョ ン	練習 時 間 不 足	実習 資 材 を も っ と 豊 富 に	人間 関 係	日常 生 活	夜 騒 が し く て 勉 強 で き な い
2) 有	4	2	/	/	1	1	/	1	/	/	/	1	/
合計	18											2) 内訳合計 6	

訓練生へのアンケート（縫製、回答数 23）

1 性別

区分	人数
1) 男	12
2) 女	11
合計	23

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	6
2) 21～25	13
3) 26以上	4
合計	23

3 障害の部位

区分	人数
1) 上肢	2
2) 下肢	0
3) 腕	3
4) 脚	19
5) 指	0
6) その他	0
合計	19

6) その他の内訳は以下の通り  
無し

4 コース名

区分
縫製

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満	不満
1) リクルート	14	6	1	0
2) アセスメント	9	14	0	0
3) 職業訓練	14	9	0	0
4) その他	4	15	0	0
合計	41	44	1	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳															
1) 無	17	コンピューター	音楽	縫製	刺繍・手工芸	電子	美容師	知識向上	能力向上	英語	スポーツ	日本語	絵画	料理	自動車運転	実習時間増	各種体
2) 有	6	2			2			1						1			
合計	23	2) 内訳合計 6															

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) : 有 の内訳						区分 f) : その他の内訳	
1) 無	17	a) 宿舎	b) 教室	c) 食堂	d) トイレ	e) 廊下・階段	f) その他		
2) 有	6	2	3	0	2	0	2	お祈り部屋の空調 寮の時計	
合計	23	2) 内訳合計 9						f) 内訳合計 2	

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳																			
1) 無	3	縫製マスキングスリッパの提供	課外活動増	実習時間増	実習機器向上	電子教材の充実	印刷機の台数増	英語	スポーツ時間増	保険・医薬品	スポーツ用具の向上	宗教プログラムの充実	適正検査の説明	一般応募者のアセスメント	訓練内容の向上	訓練期間増	スタッフのフォロー	停電対策	訓練後のフォロー	休日の図書館開放	伝統楽器増
2) 有	20	12	3						1		2	2	2			1				1	1
合計	23	2) 内訳合計 25																			

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳											
1) 無	13	将来の不安	縫製実習場のほこりと折針	公衆電話の故障	経済状態	買い物	課外活動用具の不足	レクレーション	練習時間不足	実習資材をもっと豊富に	人間関係	夜寝がしくて勉強できない	スポーツ用具不足
2) 有	10		4		2	1	1			1	1	1	1
合計	23	2) 内訳合計 12											

訓練生へのアンケート（金属加工、回答数 20）

1 性別

区分	人数
1) 男	20
2) 女	0
合計	20

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	5
2) 21～25	10
3) 26以上	5
合計	20

3 障害の部位

区分	人数
1) 上肢	0
2) 下肢	0
3) 腕	0
4) 脚	19
5) 指	0
6) その他	1
合計	20

6) その他の内訳は以下の通り  
右手首 (1)

4 コース名

区分
金属加工

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満足	不満足
1) リクルート	3	17	0	0
2) アセスメント	5	15	0	0
3) 職業訓練	6	14	0	0
4) その他	2	11	0	0
合計	16	57	0	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳															
1) 無	7	コンピューター	音楽	縫製	刺繍・手工芸	電子	美容師	知識向上	能力向上	英語	スポーツ	日本語	絵画	料理	自動車運転	実習時間増	各種体
2) 有	13	8		2		1	1			1							
合計	20	2) 内訳合計 13															

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) : 有 の内訳						区分 a) : 宿舎の理由
1) 無	18	a) 宿舎	b) 教室	c) 食堂	d) トイレ	e) 通路・階段	f) その他	5人部屋がある。
2) 有	2	2	0	0	0	0	0	
合計	20	2) 内訳合計 2						

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳																			
1) 無	16	縫製マスク・スリッパの提供	課外活動増	実習時間増	実習機器向上	電子教材の充実	印刷コンピューターの台数増	英語	スポーツ時間増	保険・医薬品	スポーツ用具の向上	宗教プログラムの充実	適正検査の説明	一般応募者のアセスメント	訓練内容の向上	訓練期間増	スタッフのフォロー	停電対策	訓練後のフォロー	休日の図書館開放	伝統楽器増
2) 有	4		1	2	1						1										
合計	20	2) 内訳合計 5																			

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳											
1) 無	19	将来の不安	縫製実習場のほとり折針	公衆電話の故障	経済状態	買い物	課外活動用具の不足	レクレーション	練習時間不足	実習資材をもっと豊富に	人間関係	日常生活	夜騒がしくて勉強できない
2) 有	1	1											
合計	20	2) 内訳合計 1											

訓練生へのアンケート（電子、回答数 21）

1 性別

区分	人数
1) 男	19
2) 女	2
合計	21

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	2
2) 21～25	13
3) 26以上	6
合計	21

3 障害の部位

区分	人数	
1) 上肢	0	
2) 下肢	0	
3) 腕	0	
4) 脚	20	
5) 指	1	
6) その他	0	6) その他の内訳は以下の通り
合計	21	無し

4 コース名

区分
電子

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満足	不満足
1) リクルート	9	12	0	0
2) アセスメント	12	8	0	0
3) 職業訓練	14	7	0	0
4) その他	8	8	0	0
合計	43	35	0	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳															
1) 無	12	コンピューター	音楽	縫製	刺繍・手工芸	電子	美容師	知識向上	能力向上	英語	スポーツ	日本語	絵画	料理	自動車運転	実習時間増	各種体験
2) 有	9		4		2		1		1		2				1		
合計	21														2) 内訳合計 11		

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) : 有 の内訳						区分 f) : その他の内訳	
1) 無	18	a) 宿舎	b) 教室	c) 食堂	d) トイレ	e) 通路・階段	f) その他	テレビ視聴室	
2) 有	3	0	1	1	0	0	1	1	
合計	21	2) 内訳合計 3						f) 内訳合計 1	

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳																				
1) 無	14	縫製マスキングスリッパの提供	課外活動増	実習時間増	実習機器向上	電子教材の充実	印刷コンピュータの台数増	英語	スポーツ時間増	保険・医薬品	スポーツ用具の向上	宗教プログラムの充実	適正検査の説明	一般応募者のアセスメント	訓練内容の向上	訓練期間増	スタツファイ	停電対策	訓練後のフォロー	休日の図書館開放	伝統楽器増	
2) 有	7				4	6									1							
合計	21																2) 内訳合計 11					

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) / 有 の内訳											
1) 無	17	将来の不安	縫製実習場のほこりと折針	公衆電話の故障	経済状態	買い物	課外活動用具の不足	レクレーション	練習時間不足	実習資料をもっと豊富に	人間関係	日常生活	夜騒がしくて勉強できない
2) 有	4			4									
合計	21											2) 内訳合計 4	

訓練生へのアンケート (印刷、回答数 17)

1 性別

区分	人数
1) 男	13
2) 女	4
合計	17

2 年齢

区分	人数
1) 20以下	0
2) 21～25	11
3) 26以上	6
合計	17

3 障害の部位

区分	人数	
1) 上肢	2	
2) 下肢	0	
3) 腕	0	
4) 脚	13	
5) 指	2	
6) その他	2	6) その他の内訳は以下の通り 手首(1)、屈伸(1)
合計	17	

4 コース名

区分
印刷

5 プログラム満足度

区分	大いに満足	満足	やや不満	不満
1) リクルート	8	9	0	0
2) アセスメント	8	9	0	0
3) 職業訓練	14	3	0	0
4) その他	0	3	1	0
合計	30	24	1	0

6 現在のコース以外で希望する訓練

区分	人数	区分 2) /有 の内訳															
1) 無	8	コンピューター	音楽	縫製	刺繍・手工芸	電子	美容師	知識向上	能力向上	英語	スポーツ	日本語	絵画	料理	自動車運転	実習時間増	各種
2) 有	9		2	1			2					1	1		1	1	1
合計	17	2) 内訳合計 9															

7 施設で使いにくい箇所の有無

区分	人数	区分 2) : 有 の内訳						区分 f) : その他の内訳	
1) 無	13	a) 宿舎	b) 教室	c) 食堂	d) トイレ	e) 通路・階段	f) その他		
2) 有	4	1	0	2	1	0	0		
合計	17	2) 内訳合計 4						f) 内訳合計 0	

8 サービス内容の向上について

区分	人数	区分 2) /有 の内訳																		
1) 無	11	縫製マスク・スリッパの提供	課外活動増	実習時間増	実習機器向上	電子機材の充実	印刷コンピューターの台数増	英語	スポーツ時間増	保険・医薬品	スポーツ用具の向上	宗教プログラムの充実	適正検査の説明	一般応募者のアセスメント	訓練内容の向上	訓練期間増	スタッフの待遇	訓練終了後の対策	休日図書館開放	伝統楽器増
2) 有	6		2	2			5	1												
合計	17	2) 内訳合計 10																		

9 現在困っていること

区分	人数	区分 2) /有 の内訳										
1) 無	14	将来の不安	縫製実習場のほこり折針	公衆電話の故障	経済状態	買物	課外活動用具の不足	レクレーション	練習時間不足	実習資材をもっと豊富に	人間関係	夜眠がなくて勉強できない
2) 有	3	1					1		1			
合計	17	2) 内訳合計 3										

## 24. 障害者関連法案

### IV 心身障害者対策に関する最近制定された法令

① 「障害者に関する法律（1997年法律第4号）」

運輸省、保健省、社会省、労働省、教育省等の6関係省庁の共同所管法。  
社会省が主管庁。

同法により、障害者のアクセス対策の推進、障害者法定雇用率制度の導入等が図られることとなった。

参照 別添VII

② 「障害者の福祉向上に関する政令（1998年政令第43号）」

法定雇用率として、従業員100人に対して1名の障害者を雇用する義務有りと規定。

参照 別添VIII

③ 障害者行政調整機関に関する大統領令  
（1999年大統領令第83号）」

参照 別添IX

### V インドネシアにおける心身障害者社会リハビリ・職業リハビリの概要

1 BKS N（旧社会省）直轄型と地方自治体（旧社会省社会事務所（「KANWIL」全国26各州に設置）の管理型とに区分される。

また、入寮型と通所型とに区分される。入寮型施設は、障害種別に応じて設置されている。

リハビリ措置期間については、通所型施設であるLBKでは短期（3ヶ月）であり、入所型である施設では6ヶ月程度のものが多いが、障害の特性から長期収容としている（最大3年）ものも存在する。

2 社会リハビリ措置として、精神面の指導・錬磨、宗教的指導、一般教養指導、体育指導、職業補導、技能訓練等が、個々の障害特性を配慮しつつ付与されている。

3 職業補導、技能訓練としては、次のようなコースを設定している。但し、同一施設に多くの種類を設けているのではなく平均的には3～10コースとなっている。当然、収容障害者の障害種別等も考慮されている。

縫製、刺繍、洋裁、調理、家具調度品、大工、木彫り工芸  
自動車修理、オートバイ修理、溶接、金属加工、印刷  
コンピューター操作、電子機器 等



#### 4 心身障害者に係る社会リハビリテーション施設等の種類

##### 4～1 BKS N (旧社会省) 直轄型 (入寮型) ・ ・ 再掲

- ① チビノン国立身体障害者職業リハビリテーションセンター (NVR C)  
西部ジャワ州 収容定員 100人
- ② ソロ国立身体障害者社会リハビリテーションセンター  
中部ジャワ州 収容定員 325人
- ③ カルテイニ国立知的障害者社会リハビリテーションセンター  
中部ジャワ州 収容定員 225人

##### 4～2 地方自治体 (旧社会省社会事務所管理型 (入寮型))

- ① 身体障害者社会リハビリテーション施設 (6カ所)  
(北スマトラ州、南スマトラ州、ジャカルタ特別州、中部ジャワ州、  
東部ジャワ州、南部スラウエイ州)
- ② 視覚障害者社会リハビリテーション施設 (20カ所)  
(中部ジャワ州 (5所)、西部ジャワ州 (3所)、その他アチエ特別州  
等12州に各1所)
- ③ 聴覚・言語障害者社会リハビリテーション施設 (3カ所)  
(北スマトラ州、ジャカルタ特別州、東部ヌサツングラ州)
- ④ 知的障害者社会リハビリテーション施設 (9カ所)  
(西部ジャワ州 (2所)、中部ジャワ州 (2所)、西部スマトラ (1)  
南部カリマンタン州 (1)、ブンクル州 (1)、  
中部スラウエシ (1)、チモール (1))
- ⑤ 慢性病治癒者社会リハビリテーション施設 (1カ所)  
(マルク州)

※ 別途にハンセン氏病治癒者用コロニー5カ所有り

##### 4～3 地方自治体 (旧社会省) 社会事務所管理型 (通所型) = L B K 2 7 1 所

社会リハビリ措置期間は3ヶ月の短期。1年間に3回総入れ替え。

施設は、日本の幼稚園程度の規模で1回に30名前後が通所。

全国で年間3万人前後が本措置を受けている。

寮施設が設置されていないため、遠方通所者には、夜間に所長室等での仮泊を認めている。

4～4 地方自治体（旧社会省社会事務所管理型（障害者共同作業所）  
＝KUBE（約550グループ）

上記2～4に記述の施設にて社会リハ、職業リハを終了した者のうち、  
企業雇用や自営に至らない者が、10～25名程度の集団を組み、共同  
受注し事業を行っている。所属障害者 約12000人前後

事業創設時は国から一定の補助金が支給される。経営不振で廃止され  
たケースもしばしば見られる。

4～5 地方自治体（旧社会省社会事務所管理型（巡回指導事業）＝MRU

医師、ソーシャルワーカー、サイコロジスト等によるチームがバスで、  
山間僻地、離島等の一定の予約場所へ1週間前後訪問し、事前の広報によ  
り集合した障害者に対して社会リハ・職業リハに関する相談・指導を行う  
こととされた移動活動事業。

ESTIMATION OF DISABLED POPULATION FROM TOTAL INDONESIA POPULATION  
YEAR OF 1995

NO	PROVINCE	POPULATION	POPULATION ACCORDING TO THE TYPE OF DISABILITY					TOTAL
			VISUALLY DISABLED	PHYSICALLY DISABLED	EX CHRONICALLY DISEASE	MENTAL RETARDED	HEARING AND SPEECH DISABLED	
1	DKI JAKARTA	9,160,500	82,445	77,864	59,543	36,642	28,398	284,892
2	JAWA BARAT	39,336,500	354,029	334,360	255,687	157,346	121,943	1,223,365
3	JAWA TENGAH	29,688,100	267,193	252,349	192,973	118,752	92,033	923,300
4	D.I. YOGYAKARTA	2,916,700	26,250	24,792	18,959	11,667	9,042	90,709
5	JAWA TIMUR	33,885,900	304,973	288,030	220,258	135,544	105,046	1,053,851
6	D.I. ACEH	3,860,000	34,740	32,810	25,090	15,440	11,966	120,046
7	SUMATERA UTARA	11,145,300	100,308	94,735	72,444	44,581	34,550	346,619
8	SUMATERA BARAT	4,328,200	38,954	36,790	28,133	17,313	13,417	134,607
9	RIAU	3,924,600	35,321	33,359	25,510	15,698	12,166	122,055
10	JAMBI	2,383,400	21,451	20,259	15,492	9,534	7,389	74,124
11	SUMATERA SELATAN	7,232,700	65,094	61,478	47,013	28,931	22,421	224,937
12	LAMPUNG	6,680,300	60,123	56,783	43,422	26,721	20,709	207,757
13	KALIMANTAN BARAT	3,651,800	32,866	31,040	23,737	14,607	11,321	113,571
14	KALIMANTAN TENGAH	1,637,300	14,738	13,917	10,842	6,549	5,076	50,920
15	KALIMANTAN SELATAN	2,900,400	26,104	24,653	18,853	11,602	8,991	90,202
16	KALIMANTAN TIMUR	2,331,000	20,979	19,814	15,152	9,324	7,226	72,494
17	SULAWESI UTARA	2,652,300	23,871	22,545	17,240	10,609	8,222	82,487
18	SULAWESI TENGAH	1,947,500	17,528	16,554	12,659	7,790	6,037	60,567
19	SULAWESI SELATAN	7,577,800	68,200	64,411	49,256	30,311	23,491	235,670
20	SULAWESI TENGGARA	1,594,000	14,346	13,549	10,381	6,376	4,941	49,573
21	MALUKU	2,094,700	18,852	17,805	13,616	8,379	6,494	65,145
22	BALI	2,902,200	26,120	24,669	18,864	11,609	8,997	90,258
23	NUSA TENGGARA BARAT	3,654,800	32,893	31,066	23,756	14,619	11,330	113,664
24	NUSA TENGGARA TIMUR	3,582,800	32,245	30,454	23,288	14,331	11,107	111,425
25	IRIAN JAYA	1,956,300	17,607	16,629	12,716	7,825	6,065	60,841
26	BENGKULU	1,415,000	12,735	12,028	9,198	5,660	4,387	44,007
27	TIMOR TIMUR	843,100	7,588	7,166	5,480	3,372	2,614	26,220
	TOTAL :	195,283,200	1,757,549	1,659,907	1,269,341	781,133	605,378	6,073,308

SOURCE : CENTRAL BUREAU OF STATISTIC POPULATION PROJECTION, 1995

26. 1998年社会福祉問題をもつ人に関する調査

1998年 社会福祉問題実態調査

TABLE 1 : DISTRIBUTION OF DISABLED POPULATION ON PERCENTAGE  
ACCORDING TO TYPE OF DISABILITY, TEAR 1998

CAUSE OF DISABILITY	URBAN	VILLAGE	TOTAL
1	2	3	4
Birth Heritage	35,03	34,83	34,89
Accidence/Natural Disasters	16,60	14,66	15,20
Disease	49,31	51,50	50,89
TOTAL N (thousand)	100,0	100,0	100,0
	440	1.145	1.585

Source : Central Bureau of Statistic, Survey on people with the social welfare problems, 1988

TABLE 2 : DISTRIBUTION OF HOUSEHOLD PERCENTAGE THAT HAVE  
RECEIVED SPECIAL ASSISTANCE FOR DISABLED  
ACCORDING TO TYPE OF DISABILITY, TEAR 1998

SOURCES	URBAN	VILLAGE	TOTAL
1	2	3	4
1. GOUVERNMENT	72,58	80,39	77,48
2. PRIVATE	27,42	19,61	22,52
TOTAL N (thousand)	100,0	100,0	100,0
	24	40	64

Source : Central Bureau of Statistic, Survey on people with the social welfare problems, 1988

TABLE 3 : DISTRIBUTION OF DISABLED POPULATION ON PERCENTAGE  
ACCORDING TO TYPE OF DISABILITY, TEAR 1998

TYPE OF DISABILITY	URBAN	VILLAGE	TOTAL
1	2	3	4
Visually Disabled	15,91	17,42	17,00
Hearing Disabled	13,73	14,48	14,27
Speech Disabled	7,62	7,24	7,35
Hearing and Speech Disabled	2,21	1,93	2,01
Physically Disabled	35,43	34,95	35,08
Mentally Disabled	13,31	11,70	12,15
Psychotic	5,30	5,23	5,25
Other disability	6,50	7,05	6,90
TOTAL N (thousand)	100,0	100,0	100,0
	440	1.145	1.585

Source : Central Bureau of Statistic, Survey on people with the social welfare problems, 1988

## 27. 労働力調査

### インドネシア労働力調査

表1 基本統計(雇用)の推移

年	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
労働力人口(15歳以上)	78,355.6	78,268.2	83,696.7	84,230.1	88,186.7	89,602.8	92,734.9	94,865.1
就労者数	76,213.4	76,163.5	80,042.3	78,322.1	83,900.1	85,405.5	87,672.4	88,914.4
完全失業者数	2,142.3	2,104.7	3,654.4	5,907.9	4,286.6	4,197.3	5,062.4	5,950.6
完全失業率	2.73%	2.69%	4.37%	7.01%	4.86%	4.68%	5.46%	6.27%

注1. 出所 -Labor force situation in Indonesia (1995年以外)

-Population of Indonesia (Results of the 1995 Intercensal Population Survey)

2. 1999年は速報値

表2 産業別就労者数の推移

年	1996	1997	1998	1999
農業水産狩猟業	36,500.3	34,789.9	39,414.8	38,452.3
鉱業採石業	753.0	875.3	674.6	711.5
製造業	10,570.4	11,008.9	9,933.6	11,504.7
電気ガス水道業	164.1	233.2	147.9	188.9
建設業	3,779.1	4,184.9	3,521.7	3,429.0
卸売小売飲食ホテル業	15,841.0	16,953.0	16,814.2	17,580.3
運輸倉庫通信業	3,936.3	4,125.4	4,153.7	4,209.2
金融保険不動産事業場サービス業	688.0	656.7	617.7	631.3
地域個人サービス業	11,657.6	12,574.8	12,394.3	12,207.2
その他	10.4	3.2	-	-
合計	83,900.1	85,405.5	87,672.4	88,914.4

注1. 出所 -Labor force situation in Indonesia

2. 1999年は速報値

3. 15歳以上の値

表3 週労働時間別就労者数の推移

年	1996	1997	1998	1999
完全失業者数	4,286.6	4,197.3	5,062.4	5,950.6
週15時間未満の就労者数	8,361.0	8,168.8	9,193.4	8,468.6
週15~34時間の就労者数	23,497.9	22,393.9	25,108.5	25,093.7

注1. 出所 -Labor force situation in Indonesia

2. 1999年は速報値

3. 15歳以上の値

表5 就業形態別就労者数の推移

年	1996	1997	1998			
自営	18,250.1	21.8	19,864.8	23.3	20,523.3	23.4
自営(家族経営の手伝い又は臨時労働者)	21,095.0	25.1	17,982.8	21.1	19,690.1	22.5
雇用主	1,184.4	1.4	1,466.5	1.7	1,525.6	1.7
雇用労働者	28,704.1	34.2	30,277.8	35.5	28,805.4	32.9
資金のない労働者又は家族労働者*	14,666.6	17.5	15,813.8	18.5	17,128.0	19.5
合計	83900.1	100.0	85405.5	100.0	87672.5	100.0

注1. 出所 -Labor force situation in Indonesia

2. \*については、1996年及び97年は家族労働者、1998年は資金のない労働者

3. 15歳以上の値